

Neo レーザーモジュール 取扱説明書

取付説明



注意、警告、危険、指示および禁忌事項を含む全取扱説明書については、ユーザーマニュアルを参照。

- 国内向け(米国のみ)については、Vectra Neo Clinical Therapy System ユーザーマニュアルの項目#13-7646 (CDバージョン、項目#13-7647)を参照。
- 国外向けについては、Intellect Neo Clinical Therapy System ユーザーマニュアルの項目#13-7651 (CDバージョン、項目#13-7652)を参照。
- 本マニュアルは地域代理店またはDJO顧客ケアに請求可。



DJO, LLC
A DJO Global Company
1430 Decision Street
Vista, CA 92081-8553
T:1-800-592-7329 USA
T:1-760-727-1280
F:1-760-734-5608
DJOGlobal.com

© 2017 DJO, LLC.無断複写転載を禁止する。

Neo レーザーモジュール取扱説明書13-8907 Rev E



EU Authorized Representative:
MDSS GmbH
Schiffgraben 41
30175 Hannover
Germany
Phone (+49)-511-6262 8630
FAX (+49)-511-6262 8633



Rx Only

モジュールの取付

本機の左側(画面向かって左)からモジュールを取り付ける。

このモジュールには以下のものが含まれる:

レーザーモジュール - PN 70005

- ・ レーザーモジュール
- ・ 保護眼鏡類、2組
- ・ レーザーインターロック
- ・ 遠隔患者、レーザー割り込みスイッチ
- ・ 面板(挿入後にモジュールを覆う)

必要な工具(含まれない):

- ・ #2プラスドライバー
- ・ 標準スロット型スクリュードライバー

本システムプログラムは、新しいモジュールを自動的に認識するので、ソフトウェアのインストールや設定は不必要である。

以下のステップに従って、モジュールを取り付ける:

1. 装置の電源を切る。装置の後から電源コードを外す。
2. 本機の左右側の正面から4つ目のスロットに空白の面板を外す。ストレートスロットスクリュードライバーをスロット上部に挿入し、少し力をかけて押し込む面板を引き出す。



3. 4つ目のスロットは下記のとおりながら、使用法はすべてのモジュールで同じである。



4. モジュールを下記のとおり、4つ目のスロットの左側に挿入する。モジュールは、32ピン(2x16)を先にして、スロットの中に丁寧に挿入する。



5. 移動が終点に来たと感じるまで、少し力をかけてモジュールを正位置に入れる。



モジュールの取付 (続き)

6. #2 プラスドライバーを使用して、モジュールを下記のとおり、下部タブにある所定の8-32 x 5/16" ネジで固定する。



7. 接続口のある面板(モジュールに付属)を下部の左側に挿入し、下記のとおり、上部で正位置に取り付ける。



8. 本機に差し込み電源ボタンを押して、本機を起動したら、新しく取り付けたモジュールがホーム画面のように表示されることを確認する。



ケーブルの挿入

下には ケーブルの挿入場所が表示されている。



注意、警告、危険、指示および禁忌事項を含む全取扱説明書については、ユーザーマニュアルを参照。

- 国内向け(米国のみ)については、Vectra Neo Clinical Therapy System ユーザーマニュアルの項目#13-7646 (CDバージョン、項目#13-7647)を参照。
- 国外向けについては、Intellect Neo Clinical Therapy System ユーザーマニュアルの項目#13-7651 (CDバージョン、項目#13-7652)を参照。
- 本マニュアルは地域代理店またはDJO顧客ケアに請求可。

レーザー仕様

電源

電気タイプタイプB
 出力タイプ 赤外線ランプ(レーザー)
 レーザークラス 3B
 レーザー技術仕様

パルス周波数 8 Hz ~ 10000 Hz および連続
 波長 670~950 nm (塗布器によって異なる)
 出力 100~1440 nm (塗布器によって異なる)
 出力精度 名目の +/- 20%

機器マークの説明

機器マークに関する詳細は、国内および国外向けユーザーマニュアルを参照。

レーザー塗布器仕様

全シングルダイオード、クラスターレーザーおよび+ED塗布器では、製造時に測定した値とあわせ、製造後の測定量の増見込み値は±20%になる。

本ソフトウェアには、治療回数が塗布ごとに3回を超える場合、次回治療前にユーザーがレーザークラスターを強制冷却させる冷却機能が搭載されている。本ソフトウェアでは、以下のとおり、必要な冷却時間を計算する。

- 3分間治療では、冷却時間は15秒。
- 4分間治療では、冷却時間は2分。
- 本ソフトウェアは、3~4分の時間を推定している。

注記:画面には、プローブ冷却中と必要時間をユーザーに知らせるメッセージが5秒間表示される。ユーザーが冷却時間完了前にプローブを使用しようとする、メッセージが再表示される。冷却が完了すると、装置の使用準備完了のメッセージが表示される。



注意

- 注意書きと取扱い説明を読み、理解し演習すること。あらゆる電氣的刺激、レーザー装置または超音波装置の利用に関連した限界と危険を熟知しなければならない。装置に取り付けられた注意と取扱いステッカーを確認すること。
- 装置は、電磁安全基準に準拠して設計されている。本装置は、電波エネルギーを発生、使用および放射し、説明書通り設置、使用されなければ、周辺のその他の機器に有害な影響を及ぼす可能性がある。しかし、ある設置方法であれば、影響が発生しないことを保証するものではない。他の機器への有害な影響のある無しは、本装置の電源を切り切りすることにより確認することができる。以下の1つ、または、2つ以上を試し、影響を是正すること。
 - 受信側装置の向き、または、位置を変える。
 - 装置間の距離を大きくする。
 - 装置を他の装置が接続された別の回路の出力側に接続し、工場の現場サービス技術者に支援を要請する。
 - 認定DJO代理店に支援を要請する。
- ユーザーやサービスマニュアルに記載されたDJO装置やアクセサリ以外に接続されている時本装置を運転してはならない。
- 装置やアクセサリを分解、変更または改造してはならない。これをすれば、装置が破壊、故障、感電、火災や人身事故を起こすことがある。
- Intellect® Neoシステム、モジュールやアクセサリを本マニュアルに記載された指示通りの使用、保守を怠れば、保証が無効となる。
- DJO製以外の部品や素材を使用することは最低安全基準が満たされなくなる。
- Intellect® Neoクリニカルセラピーシステムは、水や液体の浸入を防止する設計ではない。水や液体の進入があれば、システム内部部品の故障、さらには、患者の負傷リスクが発生する。



警告

- 本機器は医師または許認可を受けた開業医の常時監視する状態でのみ使用する必要がある。
- 当該の国家や地方の電気規則に準拠する、接地付き電源コンセントに接続し、装置の接地を確保する。
- 本装置は、子供の手の届かない場所に置かなければならない。
- 本ユーザーマニュアルで指定されていないアクセサリを使用することは、電気放出を増大し、本装置の電氣的耐性を損なう可能性がある。
- 意図的に電磁エネルギー放射する別の装置が使用されている、遮蔽のない場所で本装置を使用してはならない。
- 塗布器は毎回使用後洗浄する。洗浄しない場合、二次汚染し感染を引き起こす可能性がある。
- 解決不能な全300-レベルや、200-レベルのエラーメッセージが表示された時は、システム使用をただちに停止し、販売代理店、または、DJOにサービスを依頼する。これらのカテゴリの警告は、その後のシステムの運転や使用前に、DJO、または、教育を受けた技術者のテストが必要なシステム内部トラブルを示す。
- これらのカテゴリのエラーや警告が表示されたシステムを使用すれば、患者やユーザーへの負傷、あるいは、システムの大規模な内部損壊の危険が考えられる。
- 本書で指定した以外の管理や調整を使用あるいは手順を履行すると、超音波エネルギーに当たり危険が及ぶ場合がある。
- 感電やシステムの損壊を防止するために保守、設置、撤去や交換手順を実施する前にシステムの電源を抜く。



危険



- 体液に接触した部品やアクセサリは、国家、地域や施設のルール、規則や手順に従って取扱い、洗浄、処分する。
- 本装置は、クラス3Bレーザー製品と考えられ、可視および不可視レーザー放射 (IR) を発する。レーザー光を直接見ないようにする。左の記号は塗布器裏面に記載され、有効な放射面 (赤外線レーザーエネルギーを発する塗布器部分および光の方向) を表す。本装置の電源がオンの場合、すべての波長を肉眼で見ることができないわけではない。そのため、作動または機能チェックの場合は、チャタヌーガレーザー用保護眼鏡を常に着用する。
- 本装置は、電源の電圧が正しいことを確認せずに、電源に接続しないこと。電圧が正しくない場合、装置が破壊、故障、感電、火災や人身事故を起こすことがある。お使いの装置は電圧定格およびシリアル番号プレートに記載の電圧でのみ作動するように構成されている。装置の定格が適切ではない場合、DJO取扱店に問い合わせる。
- レーザー用保護眼鏡は、レーザー治療中、治療者と患者は常に着用して、治療中に目から赤外線エネルギーが遮断されるようにする。
- レーザー光は人や動物の目に直接当てないでください。目のレンズは不可視、可干渉性のレーザー光を検出しないので、永久に網膜が損傷される可能性がある。